

## 6課「旅行に行こう」

### <行動目標>

旅行に行くために事前に情報を収集したり相談したりして、旅行に行く前の準備ができる。

### <2つのスモールトピック>

#### ST1 「旅行の計画」

どこへ旅行に行きたいか、理由とともに提案することができる。

#### ST2 「旅行の準備」

旅行の前に何をしておくか話すことができる。

### 話してみよう

『できる日本語初中級』の6課のテーマは「旅行に行こう」です。日本での生活に慣れてきて、友達と一緒にどこか旅行に行こうという機会もあると思います。旅行に行く前に、情報を集めたり、相談をしたりするのも旅の楽しさの一部ですね。日本で新しく知り合った友達とそんな機会があったらいいなと思っています。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。初中級では2枚のイラストと1枚の写真になっています。どのイラスト、写真を使うかは学習者に合わせて選んでください。全部使う必要はありません。『できる日本語 初中級教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』のp.44にそれぞれの写真やイラストを用いた場合の質問例があるので、参考にしてみてください。イラストを見ながら、何をしているか、そこへ行ったことがあるかなどを聞いてみてください。イラストから過去の経験を思い出す学習者がいるかもしれません。イラストから、学習者の経験を引き出して、話を聞いてみてください。きっといろいろな話が出てくると思います。

【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

### 聞いてみよう

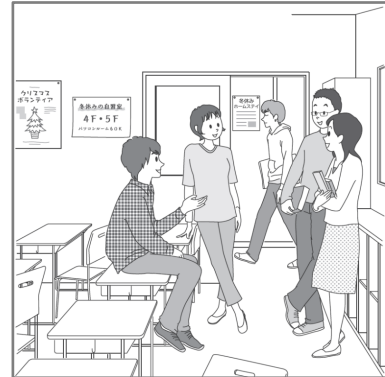
【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、学習者の興味が引き寄せられていたら、CDを聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。既習の学習項目や語彙が増えていることや効果音が使われていることから、どんな状況かがつかめると思います。

## ST1 旅行の計画

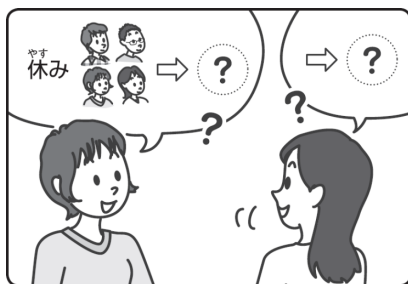
できること：どこへ旅行に行きたいか、理由とともに提案することができる。

### チャレンジ！

状況イラスト：もうすぐ冬休みになります。  
教室で友達と冬休みに旅行に行く相談をしています。



1



コマイラスト：パクさんはクラスメイトのワンさんたちを旅行に誘います。誘われたワンさんはそれに応えて、どこへ行くかとみんなに問いかけています。

【チャレンジ！】では、状況イラストから入って行って、この会話がどのような状況で行われているのかを学習者と一緒にやり取りをしながら確認し、コマイラストに入っていきます。【チャレンジ！】ではこれまでに習った学習項目や語彙を使って、日本語で何と言ったらいいかチャレンジします。教師の役目としては、吹き出しを指しながら、どのように言ったらいいかを導くことにあります。

ST1 では、「友達を誘う」→「友達の誘いを受ける＋一緒に相談する」という会話の流れになっています。「Vましょうか」は友達の誘いを受けたあとで相談するときに使われています。

学習項目 Vましょうか

### 言ってみよう 別冊1

疑問詞と□の中の動詞を組み合わせる練習になっていますが、これだけを練習するのではなく、学習者とのやり取りの中で、「誘って相談」という流れを意識しているといいと思います。いろいろなバリエーションが考えられます。楽しく意味のある練習になるといいと思います。

チャレンジ！

2



コマイラスト：マルコさんが北海道を提案して、北海道のよさをアピールしています。それを聞いたワンさんやナタポンさんも北海道に行きたい気持ちになって、行き先を北海道にしました。早速、インターネットでいろいろ調べることにしました。

【チャレンジ！】のコマイラストは文型導入イラストではありません。流れを持ったイラストになっています。ここでは、【チャレンジ！】1からの続きの会話になっているので、授業では、1のイラストから、2のイラストを見ていくといいと思います。

会話の中に、「～にします」、「～てみます」などの既出の文型（初中級2課）が使われています。ここの【チャレンジ！】2の学習項目ではないので、CDを聞くときにはさらっと聞き流してもいいですが、2度目に聞くときなどには、何と言っているか注目してもらって、学習者にとっていい復習になります。教師が一方向的に説明するのではなく、「北海道にしましょう」はどんなときに使いますか、などのように思い出せるきっかけを言うといいと思います。

学習項目 ～し、～（並列）

ここだけではなく、繰り返しの文型がたくさんちりばめられているので、チャレンジのクリプトや言ってみようの会話に、前に出た文型があったときはクラスのレベルに合わせて、その都度確認していくといい復習になります。

言ってみよう 別冊2

あるものや場所についての特徴を並列して描写するときに、「～し、～」を使っています。2つでも3つでも特徴を羅列しながら紹介できることを示すために、例1と例2がありません。

ここでは、新出語彙が少し多いです。また、いいことやおすすすめを紹介しているので、「行けます」「乗れます」「入れます」など可能動詞もたくさん使われています。練習の際には、意味を確認しながら進めるといいと思います。別冊にある例文以外にも、学習者が自分の住

んでいるところのアピールとして、「〇〇は～し、～し、～」と紹介したり、おすすめの公園とかレストランとかの紹介をしたりする練習もできます。

言ってみよう 本冊1 2

この会話では、「相手を誘って→誘いを受けて→提案して、提案したところのよさを説明」するという流れになっています。【言ってみよう】1, 2に入る前に、【チャレンジ】1, 2を見ると、状況を思い出すことができ、いいと思います。

この会話では、「～し」は1回しか使っていないのですが、「それに」を使って、文をつなげています。そうすることで、提案したい場所の3つのよさを紹介することができます。



『できる日本語』では、【チャレンジ!】(状況がある会話) → 【言ってみよう 別冊】(学習項目の口慣らし練習) → 【言ってみよう 本冊】(状況がある会話) という流れで進みます。【別冊】から【本冊】に入るとき、【チャレンジ!】の状況設定を思い出してもらおう「仕掛け」があるといいと思います。例えば、もう一度【チャレンジ!】のイラストを見て、会話を再現するとか、教師とのやり取りで会話の状況を思い出してもらおうなど、何か工夫があると、学習者もその状況に入っていくやすくなると思います。

チャレンジ!

状況イラスト：冬休みにみんなで北海道に行くことになったので、北海道について調べるためにパソコンルームに移動して、パソコンでツアーの情報を見えています。



3



コマイラスト：ツアーを調べているうちに、ニコニコツアーとわくわくツアーの2つがあることがわかり、どちらがいいか比較して相談しています。3枚目のコマイラストでは、パクさんが、それぞれのツアーの特徴を取り出して、話しています。

学習項目 ～のは～です (強調構文)

言ってみよう 別冊3

単に変換するだけではなく、意味がしっかりわかって口慣らしの練習ができるように、工夫が必要です。例えば、「値段が安いのはA ツアーです」と言うときには、A ツアーとB ツアーを比べているという前提があります。練習の際には、「A ツアー19800 円」「B ツアー28900 円」と書かれた情報を示しながら、「値段が安いのは〜〜〜」とすると、意味のある練習になります。【言ってみよう】の本冊 p.82 にツアーの比較の表があります。別冊の練習をする際に、これを見ながら単文練習をすることもできます。『わたしの文法ノート 初中級』の p.49 のイラストも練習に使えます。

チャレンジ!



4



コマイラスト:みんなで、ニコニコツアーとわくわくツアーとどちらがいいか迷っていたところ、マルコさんが理由を言って、ニコニコツアーにしようとして提案しています。みんなもその提案に賛成しています。

【チャレンジ!】の際には、3から始めて、4に入ってください。

学習項目 ~し、~ (理由)

言ってみよう 別冊4

①に「~に近い」が出てきます。「~から近い」との違いに触れてください。こちらから説明するのではなく、ヒントを出してどう違うか考えてもらいたいと思います。

①ではホテルのよさを話しているので、ホテルを起点にして観光地にアクセスしやすいという意味になります。

言ってみよう 本冊③ ④

本冊① ②のときと同様に、ここでも、例を見る前に、【チャレンジ!】の会話をもう一度見て、この会話の流れを確認するといいたと思います。

ここでは新出語彙も多いので、表の中に出てくる新出語彙を学生とやり取りをしながら、意味の確認をしてから、会話の練習に入ってください。いきなり、練習を始めると、学習者が混乱することもあります。会話練習を始める前に、全体と一緒にニコニコツアーとわくわくツアーの表を見る時間をとるといいと思います。例えば、「代金」はここでの初出の語彙ですが、やり取りをしながら、語彙を紹介することができます。

T: ニコニコツアーはいくらですか。

L: 29800 円です。

T: じゃ、わくわくツアーはいくらですか。

L: 19800 円です。

T: そうですね。ここに「旅行代金」と書いてありますが、これはどういう意味ですか。

L: ツアーの値段?


T: そうですね。じゃ、この2つのツアーで値段が安いのは?

L: わくわくツアーです。

このような感じで、新出語彙にフォーカスを当てながら、学習者とやり取りをしていくと、ここでの練習の際にどう言ったらいいのかの確認にもなります。表に書かれている「出発時間」「ツアー内容」「交通」「宿泊」「食事」の項目も同様に確認していき、全体で会話を考えてみて、そのあとにペアで会話練習をします。ペアで会話練習をしたあとは、全体で学生に言ってもらい、正しく練習できているかどうか確認します。

やってみよう

ST1 の「できること」は、「どこへ旅行に行きたいか、理由とともに提案することができる」です。

 CDを聞いて、2人はどこへ行くか、そこで何ができるかを、まずは聞き取ります。聞き取ったあとで、どんな会話の流れになっているかを確認してください。それから、会話の中でどんな質問がされていたか（「箱根に海はありますか」）、相手に提案をするときどんな言い方をしていたか（「温泉なら箱根はどうですか」「このツアーはどうですか」「どっちにしましょうか」）を確認してみましょう。これらの表現がペアで話すときに使えるといいと思います。

■ 旅行のパンフレットを見ながら、クラスメイトと旅行のプランを考えるロールプレイをします。

ペアで話す前に、まず、①~④のポスターを1つずつ全体で一緒に見ていくと、その後、

ペアで話すときにスムーズにロールプレイができます。このときに「ロープウェイ」「黒たまご」「芦ノ湖」「祇園祭」などを知らない学習者がいる場合には、写真があるとすぐにわかっていいと思います。ロールプレイの際には、チラシに書いてある語彙をそのまま会話に用いることができないことに注意するようにアドバイスすると思います。例えば、チラシには「箱根登山」とか「遊覧船に乗船」と書いてあっても、話すときには、「箱根登山もできるし、遊覧船に乗船できるし～」、「着物体験ができるし～」とはあまり言いません。「着物を着る体験ができるし」とか「着物が着られるし」などのように言うと思います。特に、漢字圏の学生は、ポスター上の言葉をそのまま使ってしまうことが多いので、注意をしてあげてください。

③～④のチラシを見たら、そのツアーではどんなことができるか、どうしてそのツアーがいいか、それをどう言ったらいいかを確認してから、ペアでのロールプレイを始めると盛り上がります。ペアで会話練習した後に、全体で、どこに行くことになったか、それはどうしてかを発表し合うと思います。

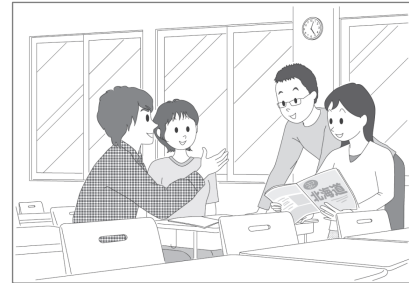
## S T 2 旅行の準備

できること：旅行の前に何をしておくか話すことができる。

### チャレンジ！

状況イラスト：

行き先が北海道に決まったので、教室でみんなで北海道のツアーのパフレットを見ながら、旅行の話をしています。



1



コマイラスト：旅行に行く日をいつにするか相談しています。パクさんが年末はどうかと提案したところ、ワンさんが年末は混みそうだとっています。【チャレンジ！】はこれから学ぶ学習項目が入っているので、スクリプト通りに再現できなくても大丈夫です。学習者が「年末は混むと思います」と言ったら、そのときに、どうしてワンさんはそう思うのか、問いかけてみてください。学習者が「年末は、毎年混んでいます」とか「ワンさんは知っています」などと言ったら、ワンさんのセリフにフォーカスをあてて、CDを聞きます。「予測」は経験や情報があるからできるので、このように聞くことによって、「～そうです」が持っている意味に注目しやすくなります。

学習項目 ～そうです（予想）

### 言ってみよう 別冊1

練習1の例1)は動詞の肯定、例2)は動詞の否定、練習2の例1)は形容詞の肯定、例2)は形容詞の否定となっています。



言ってみよう

本冊1

例が書かれている右となりにツアーのチラシがあります。まず、ここに書かれている内容を学習者と確認すると、例) と①～③のやり取りがわかりやすくなります。

このわくわくツアーの 1 日目はイルカショーがありますから、②で「イルカショーは濡れそうですよ」と言っています。「濡れる」は新出語彙ですから、イラストをよく見てもらったり、イルカショーの写真を見てもらったりして、イメージできるようにすると思います。ツアーの 2 日目は「自由」となっています。教師が「2 日目は自由ですから、A さんと B さん 2 人はバーベキューをすることにしました」などと言って、③の会話を学習者に考えてもらうようにすると思います。

会話練習をする際は、例の会話の最初の A,B のやり取りからしてください。①～③のイラストは、▶「…」後のイラストになっています。

チャレンジ!

2



コマイラスト: 旅行に行く日程が決まったので、マルコさんがツアーを予約すると言っています。それを聞いたワンさんは、事前に北海道のおいしい店を探しておくことを他のクラスメイトに話しています。

【チャレンジ!】で大切なのは、ただイラストの台詞を再現するだけではなく、会話の中で使われている学習項目の意味の理解がしやすくなるようなやり取りをすることです。例えば、ここでは、教師がイラストを指さしながら、「予約します」「おいしい店を探します」は旅行の何ですか」と問いかけることによって、学習者は ST 2 のタイトルを見て「準備!」と言ってくれたりします。教師はそれを受けて、「そうですね。「ツアーを予約します」「おいしい店を探します」は、準備ですね」などと言って、学習項目にフォーカスをあてます。その後、CD を聞きます。

学習項目 V ておきます



ちょっとここで【チャレンジ!】の流れについて、もう一度確認をしたいと思います。【チャレンジ!】の流れは以下のようになります。

イラストを見て、何と言ったらいいか考える

↓ **教師とのやり取り**

何と言ったらいいか知りたくなる

↓ **CDを聞く**

何と言っているか聞いて自分で気づく

↓

しっかり確認する

↓

聞いたあとで、教師が板書をして、接続などを一緒に確認する。

という流れです。初級、初中級、どの課でも流れは同じです!

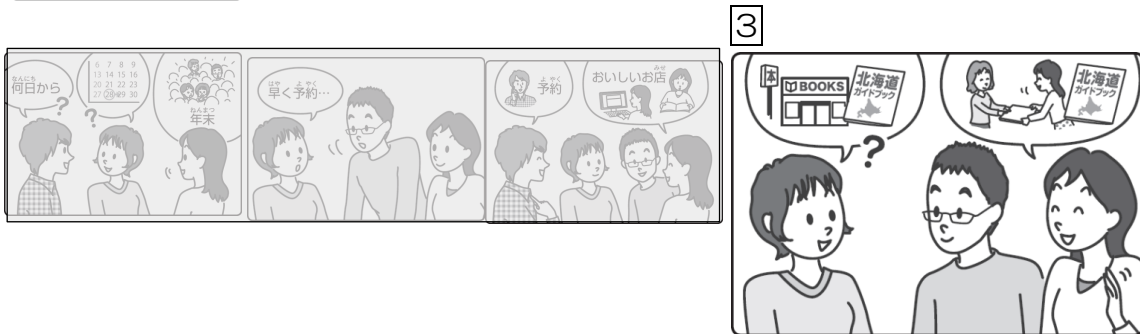
### 言ってみよう

### 別冊 ②

意味がわかりやすく、また、接続も動詞のテ形で、シンプルなので、単文の口慣らし練習がスムーズにできると思います。ここにある例文以外にも旅行の準備で何をするか「～ておきます」を用いて言うとか、他にも、「準備」することで言えそうなシチュエーションを用意しておき、それに関連する単文をどんどん言ってもらって練習もできます。例えば、「友達が家に来てパーティーをします。何をしますか」とか、「留学する前にどんな準備をしますか」で「～ておきます」の単文練習をしたあと、「じゃ、これから日本へ来る学生に準備のアドバイスをしよう」と言って、「～ておいたほうがいいです」で文を言ってもらいと、とてもいい練習になります。

⑤の「飛行機が着く時間を家族に伝えておきます」ですが、「伝える」は補語を2つ取って、どちらを先に言うかでちょっとニュアンス(伝えたいこと)が変わります。日本語では「飛行機が着く時間」と「家族」は入れ替えができることを確認してください。ここでは、伝える内容のほうがより言いたいことだから、「飛行機が着く時間(=内容)を家族(=相手)に伝える」となっています。

チャレンジ！



コマイラスト：旅行の準備の話をしています。マルコさんやワンさんがツアーの予約やお店探しをしておくと言っているのを聞いたパクさんは、北海道のガイドブックを買うことを申し出ます。でも、ワンさんがすでに友達から借りてあることを言っています。

この会話は、【チャレンジ！】**1**から続いているので、ぜひ**1**から続けてしてください。パクさんがガイドブックを買うことを申し出たとき、ワンさんは「あ、もう友達から借りてありますから、大丈夫ですよ」と言っています。

学習者が「あ、もう友達に借りましたから、大丈夫ですよ」とチャレンジしてくれたら、教師は「そうですね。もう借りましたね。その仕事は終わりました」などと言って、ワンさんの発話にフォーカスをあててから、CDを聞いてください。

**学習項目** Vてあります (完了)

言ってみよう 別冊 **3**


別冊の練習のほかに、『わたしの文法ノート 初中級』p.51のイラストを使って、口頭練習をすることもできます。書くのは宿題にして、ここでは口慣らしの練習のイラストとして使うこともできます。もちろん他のイラスト（ご自身で描いたものなど）を使用するのもいいですね。

言ってみよう 本冊 **2 3**

複数人で一緒に準備をしていくときに行われる会話です。まずAが自分からあることをしておくことを言い、それを受けて、Bがお礼を言い、自分がすることを申し出ます。すると、Aがそれはもうしてあるから、心配ないことを言うという流れになっています。学習者たちが本当に旅行の準備をしている気持ちになって発話してくれるようにできたらきっと楽しいと思います。

やってみよう

ST2の「できること」は「旅行の前に何をしておくか話すことができる」です。

 CDを聞いて、答えを確認します。それから、2回目に聞くときには、どんな会話だったか会話の流れを確認します。内容を確認するときに、このSTで出てきた新出語彙や学習項目に触れると、学習者があとでペアで会話を考える際の参考になると思います。そのとき教師側は意識的に「～そうです（予測・伝聞）」「～ておきます」「～てあります」や、少しアレンジした「～ておきましょうか」「～ておいてもらえませんか」などの表現を確認すると、学習者があとで使えるようになります。

■ ペアでイラストを見ながら、話します。

ペアで話す前に、クラス全体でガイドブックの情報を見て確認しましょう。クラスに合わせて、どう言ったらいいかを一緒に考えながら、ヒントになる言葉や使える表現を板書するのもいいと思います。既習の表現や語彙もたくさん使って話すように促してください。

## できる！

この課の行動目標は、「旅行に行くために事前に情報を収集したり相談したりして、旅行に行く前の準備ができる」です。実際に学校のスケジュールと合わせて、校外学習の計画を考えたり、長期休暇の際にどこかに遊びに行く計画を考えたりする機会にしてもいいと思います。以下、【できる！】の実践例をご紹介します。

### 【できる！】実践例

- ・実際にクラスメイトと行きたいところを挙げてグループごとに旅行のプランを話しながら考える。それをポスターにして発表する。
- ・グループごとにガイドブックを見て、旅行計画（架空）を立てて、発表する
- ・校外学習の計画を考える。行った先での計画をグループごとに立てて発表し、どの計画がいいかクラス全体で考える。
- ・春休み（夏休みなどの長期の休み）のお出かけの計画をグループで考える。
- ・グループに分かれて、東京や東京近郊のガイドマップ（自分たちが住んでいるところのガイドブック）を見て旅行の計画を立てる。
- ・『たのしい読みもの 55』「26 今度行くならこんなところ」を読んで、自分たちで旅行の計画を立てる。
- ・『わたしの文法ノート 初中級』の6課「花」のイラストを使って、BBQの計画と準備の会話を考える。

## 話読聞書

ここでのテーマは「私の国の有名な観光地」です。授業で教師が、「皆さん、6課で旅行のプランと準備の日本語をたくさん勉強しましたね。皆さんの国、町へ外国人の友達や旅行者が行くなら、どこがおすすめてですか」などと問いかけたら、きっと学習者からどんどん国や町の有名な観光地があがってくると思います。そのあとで、そこはどこにあるか、どんなところか、何をしたら楽しいか、いつ行ったらいいか、おいしい食べ物は？そこで何ができるか、などなどたくさん質問するように促してください。他の人の質問を聞いているうちに、質問したくなる人もいると思います。教師と学習者で話をしていくなかで、何を話したらいいか伝えていきます。そのあとで、教師がグループで学習者の有名な観光地について話すように言います。全体で話しているときに、いろいろな質問が出ているので、グループの中で話すときに参考になると思います。グループの中でもいろいろ質問するように促してください。グループで話したあとで、ぜひ全体でどんな話が出たか共有しましょう。グループ内

で話したことを全体で共有したあとなどに、教科書 p88「話読聞書」にある文章を見ながら CD を聞きます。自分たちがしたことと同じような会話のやり取りを聞きながら、こんなふうに言うこともできると気づくこともできると思います。この「話読聞書」は北海道についてです。富良野のラベンダー畑や釧路の湿原、十勝の牧場などは写真があると、学習者の興味をぐっと引くと思います。

グループなどでクラスメイトそれぞれの国の有名な観光地を紹介したあとで、書いてまとめます。そうすることで、正確性を高めることにもつながります。



ときどき、「【話読書聞】の CD っていつ聞いたらいいのですか」という質問を受けることがあるのですが、CD を聞くタイミングは、クラスに合わせて聞いたらいいかと思います。

6 課では、話したあとに聞くという流れをご紹介しました。基本的な流れとしては、全体やグループでのやり取りを先にしてから、聞くという流れです。話したあとで、教科書のサンプルを読んだり聞いたりして、まとめて書くということもあります。教科書のサンプルの中には、新出語彙もあるので、どんなふうにまとめたらいいのかを学習者と一緒に見る時間があつたらいいと思います。